

日本農芸化学会2017年度大会

# ランチオンセミナー LS2-3

サントリーウェルネス株式会社

【日時】 3月18日(土) 12:30-13:20

【会場】 C-18会場(C校舎4階401)

## 【演題1】

### 腸管バリア機能と健康のつながり

鈴木 卓弥 (広島大学 大学院生物圏科学研究科 教授)

近年、生体防御機能の一種である「腸管バリア機能」が着目されるようになってきた。健康な腸では、腸管内の有害な物質や細菌、ウイルスなどが生体内部に侵入して害を与えないように、腸上皮細胞を起点とした腸管バリア機能が存在する。しかしながら、加齢、ストレス、食の乱れといった要因によってその腸管バリア機能が減弱、あるいは消失することで、有害因子が生体内に侵入することが知られている。有害因子は、腸はもちろん血流を介して全身の様々な組織に傷害を与え、慢性疾患を誘発し、生活習慣病、不安やうつ、サルコペニアなどを増悪させると言われている。従って、腸管バリア機能を維持・強化することは健康において極めて重要と考えられる。本セミナーでは、腸管バリア機能と健康の関わりについて紹介する。

## 【演題2】

### S-PT84株のNASHに対する予防効果

有江 秀行 (サントリーウェルネス株式会社 健康科学研究所)

サントリーウェルネス社が保有する乳酸菌 *Lactobacillus pentosus* S-PT84株は、全身の免疫を賦活化する乳酸菌として選抜された。最近の研究の結果から、生活習慣病の1つであるNASHのモデルにおいて、NASHの進展を抑制するだけでなく、腸管バリア機能に対して保護的に作用することが明らかとなってきた。腸管バリアの中でも、タイトジャンクションへの作用が想定されており、傷害により緩んだタイトジャンクションを正常に戻し、腸から体内への有害因子の侵入を妨げていると考えている。本セミナーでは、S-PT84株の最新の研究成果を紹介する。

## 【座長】

柴田 浩志 (サントリーウェルネス株式会社 健康科学研究所長)

Suntory Wellness